

平成24年5月28日

No. 12 - 087

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

今年の新入社員像は「積極性に欠けるが、責任感が強く素直でまじめ」

～ 新社会人の意識調査結果より～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 山崎 正人）は、新社会人の意識調査結果を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、詳細は、2012年6月1日発行の「調査月報IRC・2012年6月号」に掲載いたします。

記

【調査概要】

時期 2012年3月下旬～4月中旬

方法 当社が実施した新入社員研修会の参加者に配布。その場で、または後日郵送にて回収。

伊予銀行愛媛県内営業店を通じて取引先事業所に配布、後日郵送にて回収。

回収数 296 サンプル

【調査結果要旨】

1. 就職活動において、採用試験や面接を受けた会社の数は1人平均6.4社、内定をもらった数は1.5社であった。会社を選ぶ際に重視したこととしては、男性では「会社の業種」、女性では「勤務地」が最も多かった。68.9%が「第一志望の会社に入社」と回答した。
2. 社会人としての自分に備わっていると思う人が多いのは「責任感」「協調性」、自分に足りないと思う人が多いのは「積極性」「思慮深さ・判断力」「独創性・発想力」などであった。
3. 上司や先輩からは、「やさしく」「一から十まで細かく」指導されることを望む人が多い。仕事の進め方としては、「ミスをおそれず自分の考えでチャレンジする」より「マニュアルや決まった手順に忠実な仕事をする」ほうが向いていると思う人が多く、71.3%を占めた。
4. 昇進に関しては、「そこそこ昇進したい(42.2%)」が「とことん昇進したい(24.0%)」を上回った。女性の51.5%、男性の85.5%が「今の会社で定年まで働きたい」と考えている。

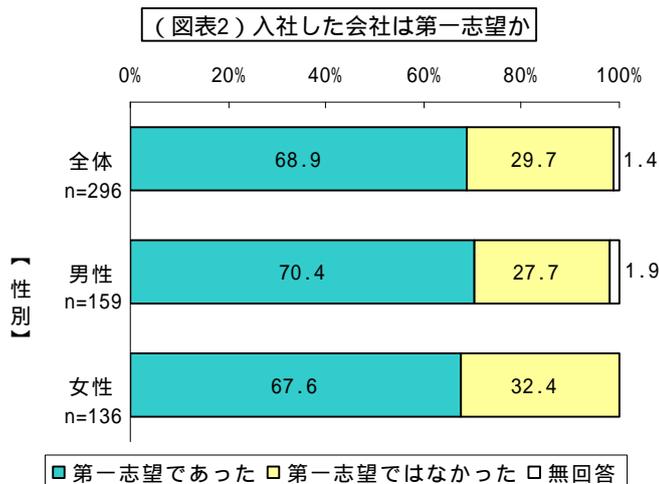
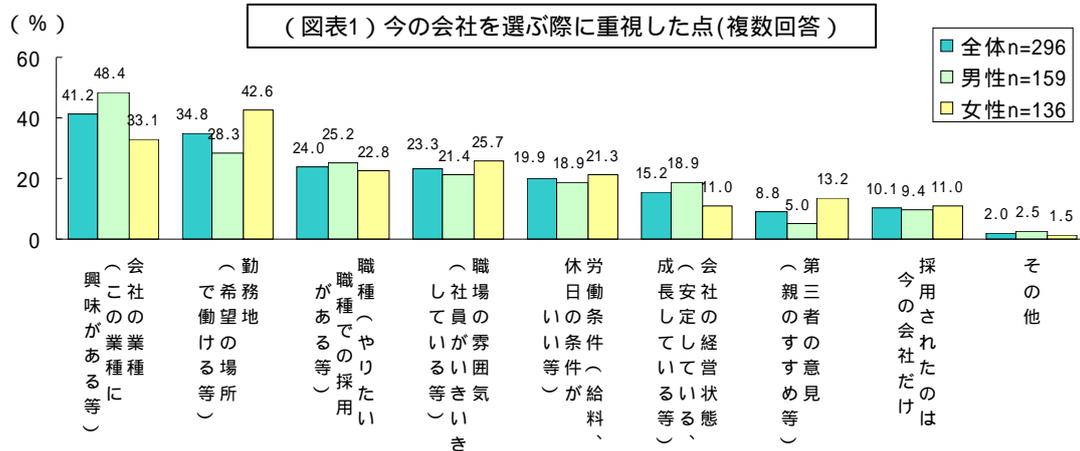
以上

1. 就職活動の状況 男性は「業種」、女性は「勤務地」を重視

採用試験や面接を受けた会社の数は1人平均6.4社（大学卒では同8.4社）、内定をもらった数は平均1.5社（大学卒では同1.7社）であった。

今の会社を選ぶ際に重視したことで最も多かった回答は、男性では「会社の業種」、女性では「勤務地」であった（図表1）。女性は、「職場の雰囲気」や「労働条件」「第三者の意見」といった仕事内容以外のことを、男性よりもやや重視する傾向がみられた。

男性の70.4%、女性の67.6%は、「入社した会社は第一志望であった」と回答している（図表2）。

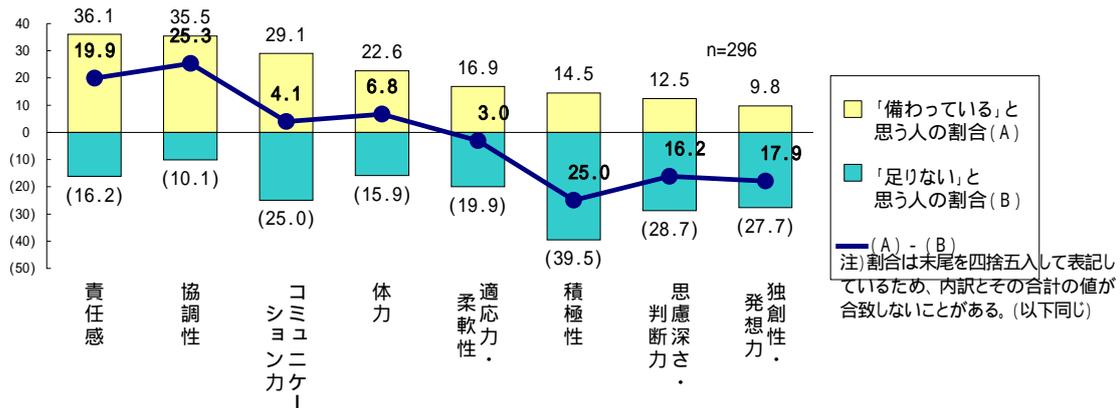


2. 社会人としての自己分析 責任感強いが積極性に欠ける

社会人としての自分に備わっていると思うものと、足りないと思うものを尋ねた。備わっているという回答の割合が、足りないという回答の割合より高かったのは「責任感」「協調性」「体力」「コミュニケーション力」であった（図表3）。

一方、「積極性」「思慮深さ・判断力」「独創性・発想力」等は足りないと感じている人の方が多かった。協調性があり責任感も強いので、指示には素直に従い、仕事はまじめにこなすが、自分で考え、自分で動く積極性、発想力、判断力には欠けるというのが、今年の新社会人に多くみられる自己分析のようである。

(図表3) 社会人としての自分に備わっているもの/足りないもの



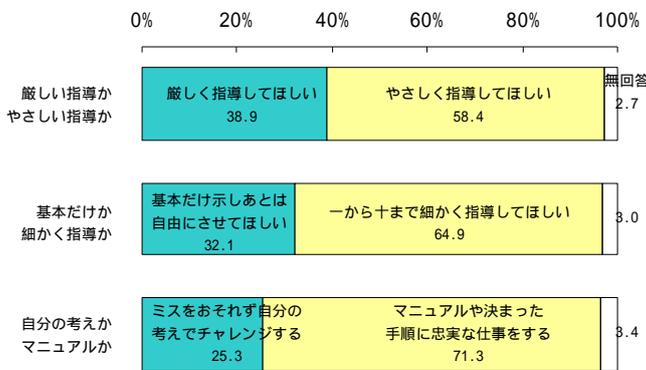
3. 職場における希望 細かい指導とマニュアルに基づく仕事

仕事に関して、上司や先輩からどのような指導をしてほしいか、またどのような進め方が自分に向いていると思うか、相反する 2 つの選択肢を挙げ、どちらかを選んでもらった。「厳しく指導してほしい」か「やさしく指導してほしい」かの選択では、過半数は後者を選択している(図表4)。

また、「基本だけ示し、あとは自由にさせてほしい」という人よりも「一から十まで細かく指導してほしい」という人が多い。

仕事の進め方としては、「ミスをおそれず自分の考えでチャレンジする」より「マニュアルや決まった手順に忠実な仕事をする」ほうが自分には向いていると考える人が多い。

(図表4) 希望する指導法や仕事の進め方 n=296

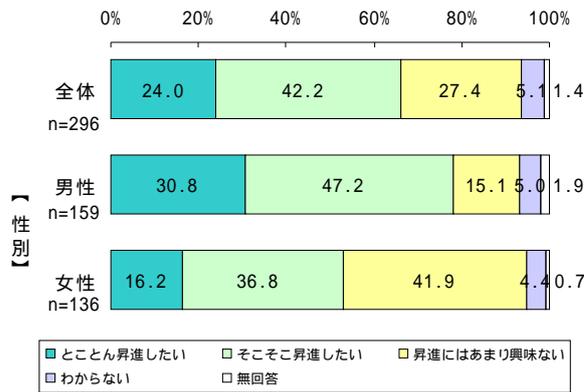


4. 社会人としての将来への考え方 そこそこ昇進して定年まで

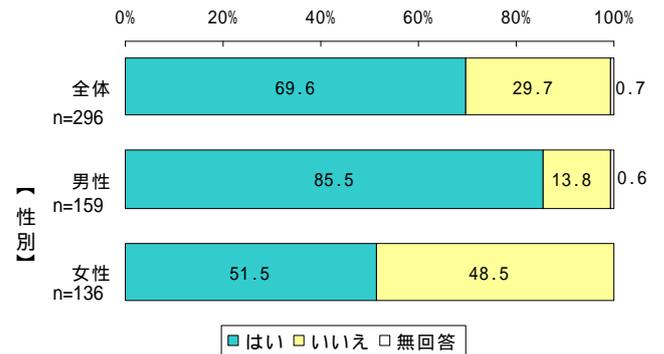
昇進に対する考え方としては「そこそこ昇進したい」が最も多く、「とことん昇進したい」は 24.0%にとどまった。男性でも「とことん」は 3 割であり、「そこそこ」の方が多い(図表5)。

今の会社で定年まで働きたいという人は全体の 69.6%を占めた(図表6)。男性のほとんどは今の会社で定年まで働きたいと考えている。一方、女性は 51.5%にとどまり、定年まで働きたくない人のうち「結婚して家庭に入りたい」「結婚してパートタイム等で働きたい」という人がそれぞれ 37.9%いた(図表7)。

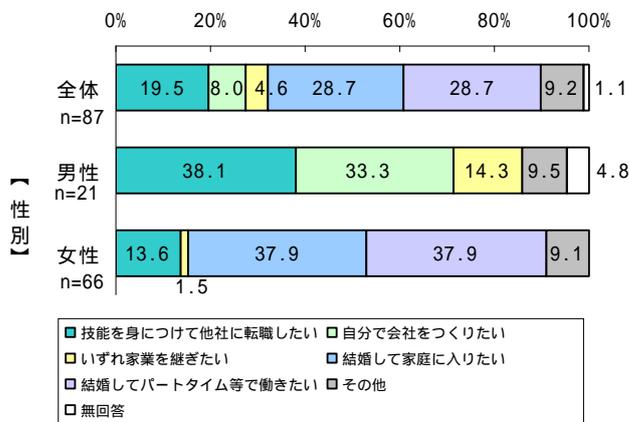
(図表5) 会社での昇進に対する考え方



(図表6) 今の会社で定年まで働きたいか



(図表7) 【会社を辞めた場合】どのような道をめざすか



5. まとめ

今回の調査対象となった新社会人は、転勤や海外勤務をあまり好まず、今の会社で定年まで働き、一生愛媛で暮らしたいと思う人が多い。昇進はそこそこでも、仕事と私生活のバランスをとりながら、比較的变化の少ない中でゆったりとした人生を望んでいる人が多いように見受けられる。

責任感が強く協調性もある彼らは、組織の中でまじめに自分の役割を果たしてくれそうだ。閉塞感・不安感が漂う時代だからこそ、職場は若者が生き生きと活躍できる場であって欲しいし、新社会人たちにも能動的な取り組みを期待したい。

(上甲 いづみ)